国立市立 国立第三中学校
学校だより１０月号
令和4年（2022年）10月14日

谷保の杜

飛躍の今年度後半へ

副校長　田中　　圭

「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」という言葉が浮かんでくるほど、学校周辺の田んぼでは今年も稲が順調に育ち、たわわに実った稲穂で黄金のじゅうたんのような景色が広がっています(10/14現在)。6月に植えられた小さな苗がわずか3か月弱で稲穂へと大きく成長する様子を、本校生徒の成長する姿に重ねて見る今日この頃です。

学校周辺の田畑、谷保天満宮の鎮守の森、城山の里山など、四季折々の変化を見て感じながら生活できる素晴らしい環境のもと、国立第三中学校は10月より令和4年度の後半に入っています。

さて、9月までの前半を振り返りますと、未だ収束が見えないコロナ禍ではありますが、感染症対策を十分に行った上で、各教育活動がコロナ禍以前に近い状態で実施できるようになりました。例えば体育館での全校朝礼や集会。3月までは各教室で校内放送を聞いていましたが、4月からは全学年が一堂に体育館に集合し、校歌も歌うことができました。5月に行われた体育祭、9月に行われた合唱コンクールといった大きな行事は、3年ぶりに完全開催ができました。6月には3年生の修学旅行が行われ、京都・奈良方面で充実の3日間を過ごしました。修学旅行も3年ぶりの完全実施でした。思い返すと、3年生は入学式翌日から臨時休業、その後も学校生活において様々な制限がかかる中で我慢しながら2年間を過ごしてきました。中学校生活最後の1年間を、楽しみながらも実りあるものにしてほしいと願っています。

コロナ禍前まで当たり前だった光景に新たな感動を覚えるとともに、生徒が生き生きと活動する姿を見て行事の素晴らしさを改めて感じることができました。

10月からの後半は、学年ごとの活動が主となります。1年生はTGG(TOKYO GLOBAL GATEWAY)への校外学習、自然体験教室（スキー教室)、2年生は進路学習に校外学習（都内巡り)と、学年行事で盛り上がります。3年生は進路実現に向けての最終選択を迫られます。この他に、全学年でSDGsの学習に取り組み、学年ごとに発表を行います。1年間の学習の集大成は、来年3月4日の学習総合発表会になります。生徒会活動も、9月22日の役員選挙を経て新体制へと移行しました。１・２年生は進級を見据えて学習や各種活動を充実させ、3年生は進路の実現及び卒業に向けて、それぞれ飛躍となる今年度後半となるよう、全力で取り組んでほしいと思います。

なお、冒頭で紹介しました「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉の意味は、「稲の穂は実が入ると重くなって垂れ下がってくる。学問や徳行が深まるにつれ、その人柄や行為がかえって謙虚になることのたとえ」とあります(小学館『故事・俗信　ことわざ大辞典』)。頑張って身に付けた知識、学問、教養が本当に深まり、身に付いてくると、自ずと人格も形成され、周囲に対し「お陰様で」と謙虚になり、思いやりの心をもって接することができるようになるということでしょう。この言葉の意味もかみしめながら、より充実した学校生活を送っていけるとよいです。

A 組の活動

１０月６日（予備日は７日）は多摩地区特別支援教育研究会マラソン大会が３年ぶりに開催される日でした。しかし２日続いた雨のためやむなく中止になってしまいました。生徒たちは９月の中旬から長距離走の練習を始めました。バスケットボールや水泳の授業とは違い、「楽しい」というよりは「苦しい」「つらい」長距離走。「走りたくないな…」と漏らす日もありました。しかし走り出せば自分との闘いが始まります。全員が毎回真剣に挑み、完走できるようになったり、記録を伸ばしたりしてきました。

マラソン大会は中止となりましたが、それぞれが一生懸命に困難を乗り越えてきたここまでの取り組みをこのまま終わらせてしまうのは惜しかったため、１０月８日の土曜授業日に記録会を行うことにしました。学校公開週間でしたので保護者の方にも応援していただき、最後に充実した走りを見せることができました。ご声援ありがとうございました。（A 組担当　金坂）

後期生徒会活動

１０月から後期生徒会活動が始まりました。生徒会本部、各委員会、スクール・バディは、２年生が中心となって運営していきます。後期の活動に先立ち、９月 22 日（木）に生徒会本部役員選挙が行われました。今年度は３年ぶりに体育館での立会演説会を行いました。各候補者は、登校時には昇降口で、給食の時間には各教室を回って選挙運動を行いました。選挙当日は、まず立会演説会で応援演説・本人による演説の順で行い、その後の投票は各学年のフロアで、国立市選挙管理委員会から実際の選挙で使用する記載台と投票箱を借用して実施しました。すでに新体制での活動が始まっています。自分たちの手で、よりよい国立第三中学校を築いてほしいと思います。

【朝の選挙運動】

【立会演説会】

【投票の様子】

授業公開週間・道徳授業地区公開講座

１０月３日～８日まで授業公開週間、８日は道徳授業地区公開講座を開催しました。保護者・地域の皆様には、３年ぶりに教室に入っていただき、学習の様子をご覧いただきました。土曜日には多くの皆様方にお越しいただき、ありがとうございました。

土曜日に開催した道徳授業地区公開講座では、２時間目に各クラス担任による「特別の教科　道徳」の授業参観、３時間目に講演会を実施しました。講演会では、元日本代表のブラインドサッカー選手の加藤健人さんを講師にお迎えしました。加藤さんは高校生の頃からレーベル症という遺伝性の病により徐々に視力が低下されましたが、19 歳のときにブラインドサッカーと出会い、競技を始めて３年ほど経った 2007 年に日本代表に初選出され、それ以降は 13 年連続で日本代表強化指定選手に選出され続けました。ご自身の経験談、実技の披露、生徒への実技指導、質疑応答と、あっという間の 50 分間でした。本講演会を通してパラスポーツ、しょうがいを持つ方への理解を深めることができました。

部活動等表彰等

（敬称略）

ソフトボール部
第 10 ブロック秋季新人大会準優勝　＊11/3 から開催される都大会に出場。

男子ソフトテニス部
第 10 ブロック秋季ソフトテニス新人大会
学年別2年生部門　準 優 勝
個　人　戦　第３位
団　体　戦　第３位

＊10/30 から開催される都大会に出場。

女子ソフトテニス部
第 10 ブロック秋季ソフトテニス新人大会
個　人　戦　第５位

女子バスケットボール部
国立市内中学校バスケットボール大会　優勝

サッカー部
国立市民体育祭中学校サッカー大会　第３位

吹奏楽部
国立市吹奏楽フェスティバル参加

水泳部
第 70 回東京都中学校学年別水泳大会　１年男子背泳ぎ　第５位

令和４年度「ふつうの日になったのか　原爆の日」展　「原爆の日を忘れないための一行コトバ」
２年　「祖父母が伝えてきたことも僕も伝えていくよ　文字と言葉で」
２年　「あの日消えた命の灯火。　七十七年たった今、記憶の灯火も消えはじめている。つなげよう、この灯火を。」
１年　「きおくから消えることで再び聞こえるひめい」
１年　「平和は勝手におとずれない。自分たちで築いていくのだ。」

令和４年度　中学生人権作文コンテスト　国立市人権擁護委員賞
２年　「部落差別と何か」
２年　「普通とは」
２年　「いつか伝えたいこと」

カジュアルウィークアンケート結果

９月５日～９日にかけて行われたカジュアルウィークについてのアンケートへの御協力ありがとうございました。国立市教育委員会とも結果を共有し、今後の参考にさせていただきます。

生徒アンケート（全学年集計）

①カジュアルウィークはどうでしたか。
楽しかった（６２．８%）　どちらかというと楽しかった（３３．５%）
どちらかというと楽しくなかった（３．４%）　楽しくなかった（０．３%）

②カジュアルウイークで私服を着てきたのは何日ですか。
５日（１４．６%）　４日（１０．７%）　３日（１３．１%）　２日（１６．２%）
１日（１８．９%）　着てこなかった（２６．５%）

③カジュアルウイークをまた企画してほしいと思いますか？
してほしい（６８．３%）　どちらでもよい（３１．４%）　してほしくない（０．３%）

④自由意見（抜粋）
☆いつもより雰囲気が明るくなった気がして、良かったです。自分の好きな服を着ていけることがいいと思いました。
☆新鮮な感じでとても楽しかった。小学校の頃に一瞬だけ戻ったような感じで楽しかった。

☆一週間だったけど好きな日に好きな服を着られて、授業をするモチベーションにもつながると思うしいいと思った。
☆好きな服を着られるし、友達の私服も見られて楽しかった。
☆部活着や休みの日に着る服を学校に来てこられたのは、新鮮で楽しかったです。
★私服の方が制服より楽だと思っていたが、毎朝服を決めるのは大変だということに気がついた。
★もう少し長い期間で行ってもらえると、私服を着てきやすいのではないかと思います。
★女子は、普段スカートなのでカジュアルウィークだと、長ズボンを着てくることになる人が多いと思うので、暑さ対策という意味ではあまり効果がないかなと思いました。冬にもやってもらえると、いいと思います。
★参加したが、私服着て来る、来てこない等々などの同調圧力がすごいあったように感じた。
★登校中に地域の方から「なんで中学生が私服なの？」と声をかけられたので、「カジュアルウィークという取り組みをやっているんです。」といったところ、「本当？」と言われてしまった。地域住民への宣伝も必要だったのではないかと思う。

保護者アンケート

回答率（約５０%）

①お子様の様子について

肯定的であった（６５．４%）　否定的であった（１２．３%）　どちらでもない（２２．２%）

②「カジュアルウィークの今後について」

継続しても良い（６７．９%）　継続しなくてよい（９．９%）　どちらでもよい（２２．２%）

③自由意見（抜粋）

☆子どもが TPO を意識して、服装を選べたこと、熱中症対策としても良かったです。
☆今回の試行で、日常の勉強と学校活動がより豊かになる様であれば、今後も取り入れていくとよいのではないかと思います。
☆「自ら考え行動する力」を具体的に実現できる、とても良い実践だったと思います。ルールを最低限にし、選択・決定の幅を持たせ、互いを認め合う姿勢も良かったです。生徒達を信じて下さった先生方に感謝いたします。
☆私が三中の卒業生で、在校時にカバンの自由化を検討していた世代です。それが今しっかり実現できているということは、今までの生徒が規律を守ったからだと思います。カジュアルウィークも、定着するには生徒一人一人の行動が大切になるのではないでしょうか。
☆本人が体育着を好きなため私服登校はしませんでしたが、気持ちとしては否定的ではなかったように感じています。
★運動部等では着替え等ある為、結局体操服が都合良かったりします。もう少し期間が長かったり、テスト期間だったりすると選択肢が増えるような気がします。私服の時はやはり気分転換になっている様子でした。
★保護者の意見として、高い制服を買い、着ていくのも残りわずか。とことん制服を着てほしいです。
★何を着ていこうか朝から大騒ぎされるのは小学校までていいと思いました。
★本人は私服で喜んでいましたが、暑さ対策としては感じられませんでした。それよりも夏服の見直しをしてほしいです。ほぼ着ていません。Ｙシャツをやめてポロシャツにするなど。いっそのこと夏服を廃止してしまうなど。結構いいお値段するのですが・・・。
★アンケートをとるにあたり中学校だけが、そうかそうか！と読むだけでなく、意見やアンケートの内容を保護者、職員と共有できなければ、このアンケートの意味はなさないと思います。

行事予定

10月

17日（月）全校朝礼　安全指導
21日（金）進路説明会（３年）
25日（火）進路相談（３年）始
～11/4(金)
26日（水）市教委訪問
27日（木）歯科講話（１年・Ａ組）
28日（金）校外学習（１年）
東京グローバルゲートウェイ
31日（月）復習確認テスト（３年）

11月

3日（木）文化の日
4日（金）校外学習（２年）
（都内巡り）
7日（月）全校朝礼　避難訓練
8日（火）Ａ組ブラッシング指導
9日（水）定期考査一週間前
家庭学習強化週間
11日（金）スケアード・ストレート
16日（水）期末考査始（理・社・保体）
17日（木）期末考査　（国・英・美）
18日（金）期末考査終（数・音・技家）
生徒委員会
21日（月）復習確認テスト（１・２年）
スクール・バディ
23日（水）勤労感謝の日
24日（木）Ａ組校外学習
25日（金）企業の方による面接練習（３年）
27日（日）スピーキングテスト（３年）
28日（月）生徒会朝礼　安全指導